

絶大なご信頼をいただく宮村式製茶機械

# 過熱蒸気対応型蒸機

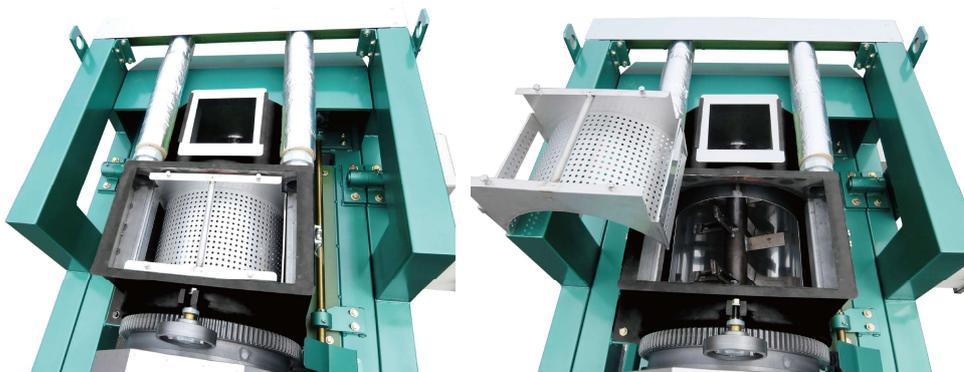
## SHS

飽和蒸気と過熱蒸気を使用できる  
ハイブリッドタイプ



※写真は、SHS(左)と過熱エンジン(右)。過熱エンジンは、別売です。

### 蒸気室内のメンテナンス容易化



### 蒸気室を大型化

蒸気室の容量を約25%アップ  
(過熱蒸気の体積膨脹に対応)



●製品に関する詳細につきましては、下記までお気軽にお問合せ下さい。

株式会社 宮村鐵工所

- 販売店 -

〒428-0037 静岡県島田市菊川168番地  
TEL (0547) 46-3000(代) FAX (0547) 46-3003

# 過熱蒸気対応型蒸機

SHS

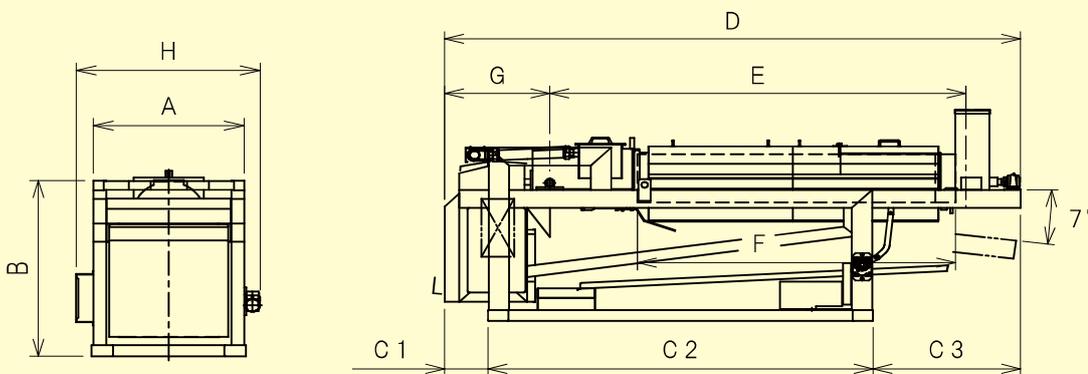
## 過熱蒸気対応型蒸機の特徴

- ◆ 過熱エンジンの併設により、過熱蒸気を効果的に使用した熱処理を行うことができる蒸機です。
- ◆ 従来の製法である飽和蒸気による熱処理も可能です。
- ◆ 過熱蒸気を効果的に使用できるよう、耐熱性・耐膨張性に優れた設計になっております。
- ◆ 高級煎茶からドリンク原料まで、幅広いお茶の製造に対応できます。

## 【過熱蒸気を利用した荒茶製造の効果】

- ◆ 熱移動の三原則を利用し、茶葉の酸化酵素を効率よく殺青します。青みの強い緑茶を製造することが出来ます。
- ◆ 蒸気温度を調整することにより、全茶期を通して上芽から下葉・茎までムラなく蒸しあげることが出来ます。
- ◆ 飽和蒸気と比べて、青みの強い蒸し上がりになります。
- ◆ 硬化した茶葉も柔らかく蒸しあげることができ、粗揉工程での上乾き・精揉工程での白ずれが軽減します。
- ◆ 硬化した茶葉の茎臭・硬葉臭を軽減し、青臭みのないまろやかな味のお茶に仕上がります。
- ◆ **省エネ効果**
  - \* 蒸と乾燥を同時に行うことが出来るため、処理能力が大幅に向上します。
  - \* 伝熱効率が高いため、蒸気の使用量が削減できます。

### 【仕様】



	A	B	C1	C2	C3	D	E	F	G	H	動力[kw]
SHS9-450K	815	1050	280	1910	770	2960	2100	1500	580	(1050)	3.7・0.4・(0.2)
SHS9-550K				2060		3110	2250	1650			
SHS10-700K	875	1200	255	2060	830	3140	2250	1650	575	(1070)	
SHS10-750K				2210		3320	2400	1800			
SHS10-800K				2360	3470	2550	1950				
SHS11-850K	940	1200	255	2210	905	3380	2400	1800	645	(1150)	
SHS11-950K				2360		3530	2550	1950			
SHS11-1000K				2510		3680	2700	2100			
SHS12-1100K	1055	1500	330	2360	980	3520	2565	1950	635	(1200)	5.5・0.4・0.4
SHS12-1200K				2510		3670	2715	2100			
SHS12-1250K	1155	1500	360	2660	940	3860	2865	2250	720	(1320)	5.5・0.75・0.75
SHS13-1300K				2510		3820	2750	2100			
SHS13-1400K				2660		3970	2900	2250			
SHS13-1500K	1205	1500	490	2810	1090	4120	3050	2400	750	(1420)	7.5・0.75・0.75
SHS14-1500K				2700		4000	2900	2250			
SHS14-1600K	1155	1500	360	2850	940	4150	3050	2400	750	(1420)	7.5・0.75・0.75
SHS14-1700K				3000		4300	3200	2550			
SHS15-1800K	1205	1500	490	2850	1090	4430	3050	2400	910	(1480)	